

第4回 諏訪市 ICT 教育推進協議会記録

課所名

教育総務課

会議名 第4回 諏訪市 ICT 教育推進協議会

開催日時 令和5年3月13日(月) 午後4時00分～5時20分

開催場所 諏訪市役所 403会議室

出席者 会長:五味 康剛、副会長:伊藤靖徳 (敬称略)
委員:三輪晋一、宮尾昭広、河西一樹、飯野敏行、尾崎剛、伊藤正敏、茅野純子
(欠席者)2名 北川大貴、神谷慎介
事務局:細野教育次長、小林教育総務課長、森教育企画係長、藤森主任、岩波指導主事

資料 ◇配布資料
No.1 諏訪市 ICT 推進協議会委員名簿
No.2 前回協議会以降の ICT 教育に係る動向について
No.3 今年度のプログラミング教育の実践報告について
No.4 令和5年度の ICT 教育の推進について

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1 開会(教育総務課長)

2 教育長あいさつ

第二次教育振興計画策定に向け児童生徒にアンケートをしたところ、タブレットを授業で活用して欲しい、家庭学習でも活用したい、学校に電子黒板の環境が整備されてうれしいといった意見があった。こうした環境を利用しながら更に授業での活用や家庭での活用を進めていくにはどうすればいいのか。また、今年度はプログラミング教育に取り組んできたが横展開をどうしていくか課題がある。教育課程全体をどうしていくのか整理が必要。委員の皆様からご意見を賜りたい。

3 協議

(1)前回協議会以降の ICT 教育に関わる動向について 【事務局より説明】(資料 No2)

(2)今年度のプログラミング教育の実践報告について 【事務局より説明】(資料 No3)

(3)令和5年度の ICT 教育の推進について 【事務局より説明】(資料 No4)

(4)質疑・意見交換

委員

令和5年度はプログラミングを重点にやっていくのか。

事務局

以前の協議会で具体的に何を重点的にやっていくのか見づらいというようなご意見を頂戴したため ICT 教育基本計画に沿った形で重点的に進めてまいりたい。

委員

スタディノートの研修を教員向けにやってきたがとても好評で授業で取り入れたいという意見が多かった。

委員

プログラミングを足並み揃えてやっていくとなると先生方の負担も増えていくと思う。

事務局

今年度、研修に参加された先生方の感想として、プログラミングに対して不安を持つ先生方がいたため活用度合いを考慮して進めてまいりたい。

委員

先生たちも忙しいが、プログラミング教育はやらなければならない分野。授業に使えることを前面に出していかなければならない。

委員

本校のプログラミングの実践を取り上げていただきありがとうございました。この授業に向けての教材研究は、本校の職員だけではできなかった。理科大の先生、学生さんの協力がなければできなかった。

委員

今回プログラミングの授業に協力させていただいたが難しい部類のことをやったと思っている。そうするとそれを横に展開するのは厳しいと思う。先生方も夜遅くまで残り、準備も大変だったと思う。学生が作ったもののいいところ取りをして授業に活用してもらいたい。事例をいくつか作っておいて横展開していけば負担が少ないと思う。

会長

モデル校で実践してきたものをすべて横一線にやろうとすることは難しいことである。事務局では先生方の不安を少しでも少なくするためのカリキュラム作りを考えている。

事務局

今後プロトタイプを作成して共有していきたい。先生たちだけで進めるのは負担が大きいのので理科大にも提案いただいてプロトタイプを作成している。

委員

公開授業に参加させていただいた。生徒たちの積極的な取組と、難しいことを簡単にクリアしていく子供たちの能力の高さに感激した。理科大の学生が小中学生をこまめにケアして単純に教えるのではなく、考えさせながら指導している姿は素晴らしかった。このまま理科大が協力してくれればどんどん進んでいくと感じた。また、地元の企業ともうまく連携してくれるとよい。

委員

今、どんな風に教育が進んでいるのかを理解することができた。子供たちが楽しんでタブレットだとかプログラミングを学習できたら素敵だなと思う。

4 次回以降協議会の開催予定について

教育総務課長

今回は5月下旬頃を予定。

5 その他

なし

6 閉会

教育次長

(17:20 終了)